

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	21226020	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	縦渦導入型広帯域スクラムジェットの研究	研究代表者 (所属・職)	須浪 徹治（独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙輸送ミッション本部・主任研究員）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-/F	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

スクラムジェットエンジン実現への研究は宇宙輸送では非常に重要であり、研究成果の達成は強く望まれる。各要素研究では十分な研究成果が認められるが、プロトタイプエンジンの試作研究とはいえ、エンジン最適設計のための Hiest による実験データに基づく検討が不可欠で、CFD だけにに基づいた検討では不十分である。試験設備の故障や震災の影響で、当初の研究計画に沿った研究遂行に問題を生じ研究計画の変更がなされたが、それでも研究遂行上不安が残る。今後のプロトタイプエンジンの試作研究では、システム全体の評価に加えて、Hiest 実験と CFD による各要素の性能向上が定量的に評価され、当初の研究計画に沿った研究成果が達成されることを期待する。

特記事項：上記の学術的な評価とは別に、本研究課題において研究代表者による研究費の不正使用が行われていたことが明らかになった。本研究課題において、研究代表者自らによる研究費の不正使用が行われたことは、誠に遺憾である。不正使用を行った研究代表者の応募資格を一定期間停止したが、研究代表者は猛省し、今後、このようなことが絶対に生じないように、姿勢を正していただきたい。

※なお、特記事項の研究費の不正使用については、研究代表者の所属研究機関の調査により認定されたものであるが、現在、当該所属研究機関と研究代表者との間で係争中である。